

# 阪神・淡路大震災から25年 四半世紀の歩みと“いま” —NGO・市民社会・災害支援のこれから—

阪神・淡路大震災から四半世紀。この間、私たちの社会はどのように変化してきたのでしょうか。次の四半世紀に向けて、私たちは何を引き継いでいけばよいのでしょうか。

「国際社会・NGO」「市民社会」「災害支援」の各分野を牽引してきた3名が、それぞれの立場からこの25年を振り返ります。さらに鼎談を通じて、「最後のひとりまで」「寄り添いからつながりへ」「支え合い、学び合い」をはじめとする被災地KOBEで大切にしてきた理念の根幹を問い直し、将来世代へ引き継ぐべきポイントとは何なのか考えます。

写真：阪神・淡路大震災後、足湯を始めた若者たち（神戸市長田区）

日時

2019年 12月 8日 (日) 13:30~16:30

会場

兵庫県立大学神戸防災キャンパス 大教室

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館4階

参加費

500円 (資料代)

## プログラム

- 13:30~15:30 登壇者3名による鼎談  
15:30~16:30 会場を交えた質疑応答・セッション

### <登壇者>

芹田健太郎 (神戸大学名誉教授/ CODE前代表理事)

松本誠 (市民まちづくり研究所 所長/ CODE前理事)

室崎益輝 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 科長・教授/ CODE代表理事)

主催

CODE海外災害援助市民センター

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10  
TEL: 078-578-7744 FAX: 078-574-0702  
Email: info@code-jp.org



共催

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

## 登壇者プロフィール

### 芹田健太郎（神戸大学 名誉教授／CODE前代表理事）



1941年中国（旧満州）生まれ。京都大学大学院法学研究科博士課程中退。パリ大学博士課程で研修。神戸大学大学院国際協力研究科長、市民とNGOの「防災」国際フォーラム実行委員長、総理府（現内閣府）国際平和協力本部事務局人道救援物資協力問題検討委員会座長、神戸新聞客員論説委員等を歴任。CODEが2002年1月にNPO法人となって以来、2019年6月まで代表理事を務める。

### 松本誠（市民まちづくり研究所 所長／CODE前理事）



1944年明石市生まれ。関西学院大学法学部政治学科卒。神戸新聞社で記者活動、同社情報科学研究所副所長等を経て、2003年から市民まちづくり研究所主宰。在職中から24年間、関西学院大学、桃山学院大学、神戸学院大学、神戸国際大学等の非常勤講師。まち研明石、市民自治あかしなどの市民団体、NPO・NGOの代表役員多数。CODE設立時から理事を務める。

### 室崎益輝（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 科長・教授／CODE代表理事）



1944年尼崎市生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。工学博士。神戸大学都市安全研究センター教授、消防庁消防研究センター所長、関西学院大学災害復興制度研究所長、ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長、ひょうごボランティアプラザ所長などを歴任。2017年4月より現職。CODEでは2002年1月のNPO法人発足以来、2019年6月まで副代表理事を務める。

## お申込み

#### ■ お申込みフォームの場合

下記URL、または右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/ok8CaRKThr8PoiBLA>



#### ■ Emailの場合

下記メールアドレスに、「お名前、ご所属、ご連絡先」を明記してお申込みください。

Email: [info@code-jp.org](mailto:info@code-jp.org)

#### ■ FAXの場合

下記にご記入のうえ、本チラシを「FAX: 078-574-0702」宛てにお送りください。

お名前	
ご所属	
TEL	Email